

令和5年度会計別予算【表2】

一般会計・特別会計

名 称	令和5年度	令和4年度	対前年度比(%)
一般会計	159億 418万円	151億7,683万円	4.8
特別会計	計	68億 367万円	1.2
	国民健康保険	29億4,756万円	▲5.8
	漁業集落排水	8,474万円	106.9
	農業集落排水	5,371万円	7.3
	港湾施設管理受託	7,257万円	19.0
	土地造成	2億8,840万円	0.2
	介護保険	28億8,131万円	6.4
	後期高齢者医療	5億5,422万円	5.5
合 計	227億8,669万円	219億8,050万円	3.7

企業会計

名 称	区分	令和5年度	令和4年度	対前年度比(%)
水道事業会計	収益的	収入 5億8,199万円	5億6,885万円	2.3
		支出 5億7,929万円	5億5,703万円	4.0
	資本的	収入 1億9,513万円	2億4,117万円	▲19.1
		支出 3億7,082万円	7億5,032万円	▲50.6
工業用水道事業会計	収益的	収入 5億5,164万円	5億5,094万円	0.1
		支出 4億6,704万円	4億4,167万円	5.7
	資本的	収入 6,470万円	6,470万円	0.0
		支出 4億1,942万円	4億1,466万円	1.1
公共下水道事業会計	収益的	収入 10億9,339万円	10億6,357万円	2.8
		支出 9億6,096万円	9億3,772万円	2.5
	資本的	収入 10億5,808万円	12億7,573万円	▲17.1
		支出 12億3,778万円	14億9,109万円	▲17.0

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

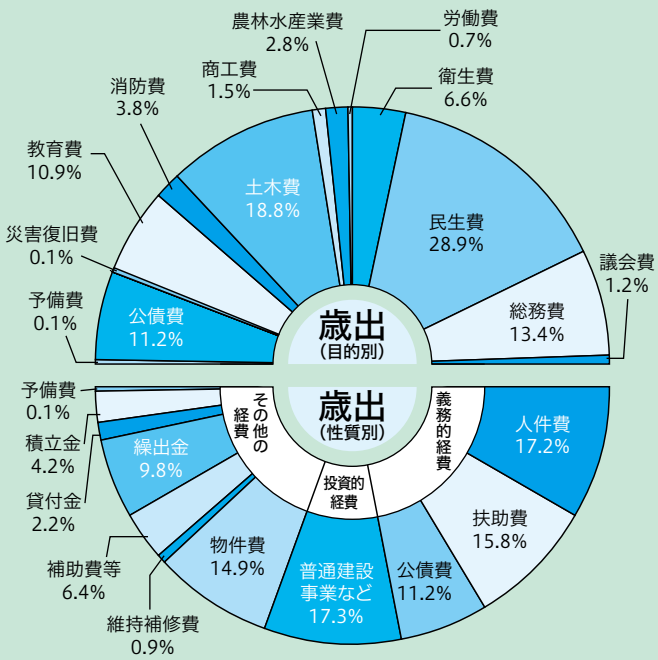
市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、その他の経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

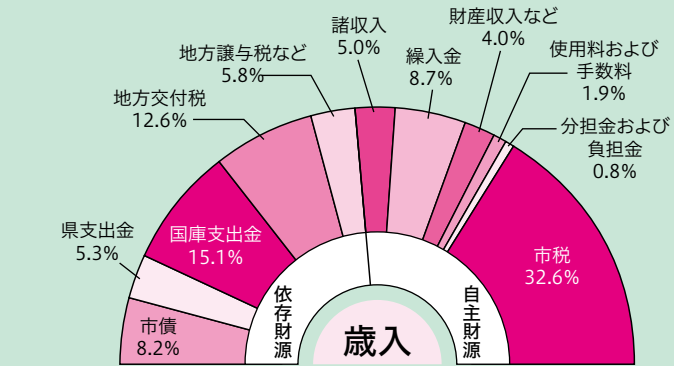


一般会計 159億418万2千円

特別会計 68億8,251万1千円

歳出（目的別）

項 目	内 容	令和5年度()は4年度	
		159億 418万円 (151億7,683万円)	前年度比(%) 4.8
議会費	議会の活動にかかる経費	1億8,434万円 (1億8,455万円)	▲0.1
総務費	市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	21億2,758万円 (23億9,310万円)	▲11.1
民生費	生活保護や児童・高齢者福祉などの経費	46億 266万円 (46億 678万円)	▲0.1
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	10億4,403万円 (11億1,008万円)	▲5.9
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,005万円 (1億2,008万円)	0.0
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	4億4,573万円 (2億4,571万円)	81.4
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億4,439万円 (2億3,417万円)	4.4
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	29億8,877万円 (26億2,385万円)	13.9
消防費	消防・救急業務や災害対策の経費	6億 365万円 (4億9,503万円)	21.9
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	17億3,928万円 (12億6,472万円)	37.5
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	1,000万円 (1,700万円)	▲41.2
公債費	過去の借入金の返済金	17億7,370万円 (18億6,176万円)	▲4.7
予備費	緊急時のための 目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0



令和5年度 当初予算



歳出（性質別）

項 目		内 容	令和5年度 ()は4年度	前年度比 (%)
			159億 418万円 (151億7,683万円)	4.8
義務的経費	人件費	市役所で働く人の報酬や給与など	27億3,463万円 (26億6,515万円)	2.6
	扶助費	社会保障制度の一環として、支援を行うための経費	25億 463万円 (25億3,397万円)	▲ 1.2
	公債費	過去の借入金の返済金	17億7,370万円 (18億6,176万円)	▲ 4.7
投資的経費	普通建設事業費	道路や公共施設を新増設するための経費	27億4,701万円 (22億5,660万円)	21.7
	災害復旧事業費	災害復旧工事などの経費	1,000万円 (1,700万円)	▲ 41.2
その他の経費	物件費	賃金、旅費、需用費などの消費的性質をもつ経費	23億7,266万円 (21億5,187万円)	10.3
	維持補修費	道路や公共施設などを管理する経費	1億4,335万円 (1億4,515万円)	▲ 1.2
	補助費等	市からほかの団体などに対して行政上の目的で支払う経費	10億2,371万円 (9億8,346万円)	4.1
	繰出金	会計間で相互に資金運用するための経費	15億5,521万円 (14億8,320万円)	4.9
	貸付金	市から行政上の目的で貸し付けを行う経費	3億4,646万円 (3億4,567万円)	0.2
	積立金	財政運営を計画的に行うため、財政変動に備えて基金に積み立てるための経費	6億7,282万円 (7億1,300万円)	▲ 5.6
	予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

歳入

項 目		内 容	令和5年度 ()は4年度	前年度比 (%)
			159億 418万円 (151億7,683万円)	4.8
自主財源	市税	市民税や固定資産税など	51億8,345万円 (51億3,203万円)	1.0
	分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	1億3,441万円 (1億3,949万円)	▲ 3.6
	使用料および手数料	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	2億9,583万円 (2億9,236万円)	1.2
	財産収入など	土地売却収入、寄附金など	6億2,664万円 (7億 828万円)	▲ 11.5
	繰入金	基金繰入金、他会計繰入金など	13億8,254万円 (11億 548万円)	25.1
	諸収入	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	7億9,374万円 (6億1,906万円)	28.2
依存財源	地方譲与税など	国や県が徴収した税から、一部を一定割合で交付されるお金	9億2,764万円 (8億3,739万円)	10.8
	地方交付税	市の財政力などに応じて国から交付されるお金	20億 338万円 (18億9,622万円)	5.7
	国庫支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	24億 179万円 (23億3,357万円)	2.9
	県支出金	特定の目的のために県から交付されるお金	8億4,746万円 (8億5,785万円)	▲ 1.2
	市債	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れるお金	13億 730万円 (12億5,510万円)	4.2

一般会計・特別会計

当初予算の概要

一般会計は、159億418万2千円で、前年度当初予算に比べ4.8%の増となりました。歳入は、大竹駅周辺整備事業費や大竹小学校プール建設事業費により、土木費や教育費などが増加し、船舶建造事業が完了した総務費などは減少しています。歳入は、普通建設事業費の増加に

に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が増加しています。市税は、個人市民税、固定資産税の増などにより、前年度に比べ1.0%の増となる見込みです。7つの特別会計の合計は、68億8251万1千円で、前年度に比べ1.2%増加しています。

問い合わせ 企画財政課 ☎592121

【グラフ】

【グラフ】【表1・2】

2 産業雇用

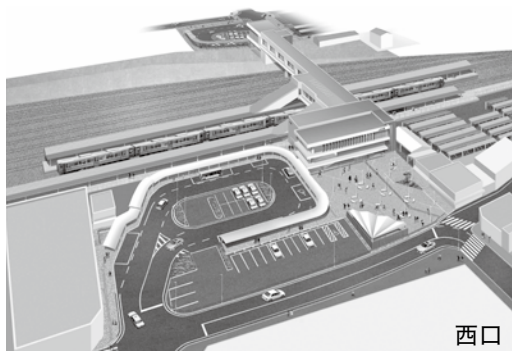
地域経済活性化補助事業 850万円

市内中小事業者が行う、地域特性などを生かした商品の開発・改良や販路拡大などに取り組む事業、または本市で新たに創業する事業者に補助金を交付し、本市の魅力の発信と地域経済の活性化を図ります。

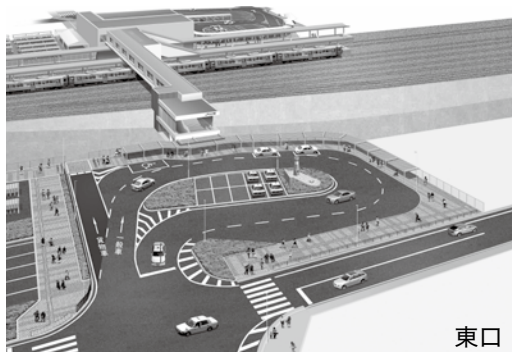
大竹駅周辺整備事業 8億9,266万1千円

令和5年度は旧駅舎・跨線橋などの解体工事を行うとともに、東口交通広場整備工事、西口駅前広場整備工事や隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事を行います。

また、西口駐輪場などの公共用地の有効活用を図るため、自由通路・橋上駅供用開始後の駐輪場利用状況を確認し、駐輪場などの必要規模や運用方法などを整理するとともに、土地活用の可能性を調査・検討します。



西口



東口

3 生活環境

今年度から大竹駅の西口（旧駅舎側）、東口（国道2号側）のロータリーを整備します。ロータリーには屋根を設置し、バスや送迎用の車から駅まで、雨に濡れることなく利用できるようになります。なお、東口のイメージ図には、市制30周年記念のモニュメントが描かれていますが、これは現在と同様西口に設置し、東口にはストーンアートの設置を予定しています。また、現在さかえ公園に移設している鯉のストーンアートは、西口交流広場が完成後、再び駅前に戻す計画です。西口は旧駅舎や跨線橋の解体後の秋ごろからの着工を予定しています。

西口交流広場は、市民の皆さんのワークショップで提案されたことを踏まえて、イベントスペースとしても活用できるような計画です。着工はロータリーの整備を終えた来年度以降になります。



担当者に聞く
教えてチョウキュウさん

都市計画課
副参事 長久 智幸

小方地区まちづくり関連事業 **新規** 3億381万7千円

「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向け、次の事業などを実施します。

小方地区のまちづくり道路設計等業務

小方地区のまちづくり基本構想に基づく道路計画および国道2号交差点新設について検討します。

小方地区のまちづくり事業

小方小・中学校跡地の活用検討やJR小方新駅の設置検討に必要な測量などを行います。

港湾施設の修築・改良事業

県が実施する小方港の橋梁架替に伴う工事などの費用の一部を負担します。

晴海臨海公園整備事業

令和5年度は、多目的グラウンドの西側エリアに幹線道路や北側駐車場を整備します。

主要事業 令和5年度の新規・拡充や主な事業を紹介

1 教育文化

学校給食費支援事業 9,543万4千円 **新規**

市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。

玖波中学校施設環境改善事業 1,450万円 **新規**

玖波中学校の教育環境を改善するため、生徒用トイレ改修工事、段差解消工事、屋内運動場照明改修工事を行います。

玖波地域交流施設整備事業 1,310万9千円 **新規**

築50年を迎える玖波公民館をコミュニティサロン玖波などの機能を統合した地域交流施設として新たに整備するため、整備方針などを定める基本構想・基本計画の策定を行います。

諸物価高騰で保護者の給食費負担が大きくなったこともあり、昨年度の途中から一食のうち半額を免除していました。将来を担う子どもたちのため、子育て支援と位置づけ、今年度からは防衛省の交付金を財源として無償にしました。近隣では和木町、岩国市に次ぐ取り組みで、県内では現在大竹市だけです。大竹市では、給食を通じて地域の食材を子どもたちに知ってもらい、ふるさとを愛する心を培ってもらえればと考えています。また、子どもたちが自分で献立を考えて提案し、みんなに食べてもらう取り組みも行っており、とてもうれしく思っています。

担当者に聞く 教えてシゲヤスさん

総務学事課
給食センター長 重安 千陽



大竹小学校1年生。新学期の給食が始まって2日目。この日の献立は『肉じゃが』など。

6 自治行政運営

議事録作成事業

音声記録から自動的に議事録などの文字起こしをするシステムを活用し、事務の効率化を推進します。

標準化対応業務

住民基本台帳など20業務の現行基幹業務システムを全国共通のシステム（標準準拠システム）へ令和7年度までに移行します。

令和5年度は、現行システムと標準準拠システムの仕様の比較分析などを実施します。

担当者に聞く 教えてオガワさん・オオクボさん

企画財政課

課長補佐兼情報政策係長 小川 和良(左)
DX推進担当課長補佐 大久保 誠二(右)

DXとは、デジタル技術を使って業務の効率化や新しいサービスを提供することによって企業や自治体を変革するもので、さまざまな企業や自治体で取り組み始めています。自治体では、DXの推進により市民の方の利便性の向上を目標にしています。例えば、役所の開庁時間にしか取れなかった住民票が、今ではマイナンバーカードを使ってコンビニエンスストアで夜間・休日問わず取れるようになったこともDXの成果の一つです。

『標準化対応業務』とは、国が令和7年度末までに達成することを目標に掲げているもので、各市町で行っている20業務のシステムを統一するものです。各市町で独自のシステムを使っているため、他の自治体とのやり取りで市民に多くの時間や手間がかかっている状態の改善を目指しているものです。

また、引っ越しの手続きについて、これまでは転出地と転入地の役所の両方へ行って手続きする必要がありました

DX推進事業 1,652万6千円 拡充

主なDX関連事業は、次の3事業です。

「DXShip(デジシップ)ひろしま」事業

デジタル人材を県・市町共同で活用する枠組みである「DXShip(デジシップ)ひろしま」に参画して、新たに専門人材を配属することで、情報システム管理やデジタルトランスフォーメーション(DX)などの推進体制を強化します。



が、マイナンバーカードを使えば、転出地の役所へ行く必要がなくなります。DXには、このように市民にとって生活の利便性をあげるものがあります。

こうした業務の強化のため、県から情報人材を派遣する『DXShip』という事業があり、現在、希望した県内7市町に派遣されています。今年度からは大竹市にもDX担当の大久保が派遣されました。今後、さまざまなDX推進のための業務に携わる予定です。

* * *

市民の方の生活や手続きの利便性向上のため貢献していきたいです。(大久保)



4 安全安心

浸水対策事業(木野地区・立戸地区) 850万円 新規

大雨時に浸水被害の発生している地区の対策を検討し、浸水被害の軽減を図ります。

水槽付消防ポンプ自動車整備事業 8,230万6千円 新規

消防力強化のため、水槽付消防ポンプ自動車（水槽容量を500ℓ増加した3,000ℓ以上）を更新します。

担当者に聞く 教えてハヤシさん

消防課 主査 林 公一

新しい車両は、これまでよりタンクの水量が増えることで、約1分40秒も長く放水でき、3栓3口のホースから約3分間の放水が可能です。初動で少しでも長く消火活動が可能になります。



こども医療費支援事業 6,487万1千円 拡充

こどもの健やかな成長を支えるため、こどもの医療費にかかる自己負担の一部を助成します。

令和5年10月1日から対象を拡大し、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

(拡充内容)

対象年齢等	～令和5年9月30日	令和5年10月1日～
	0歳児から中学校卒業(満15歳に達する日以後最初の3月31日)まで	0歳児から満18歳に達する日以後最初の3月31日まで

(支援内容)

一部負担金	○保険医療機関ごと 1日500円まで (調剤については負担金無し)
支払日数	○入院：1医療機関 月14日まで ○通院：1医療機関 月4日まで ○柔道整復・あんまマッサージ・はりきゅう：1医療機関 月4日まで

5 健康福祉

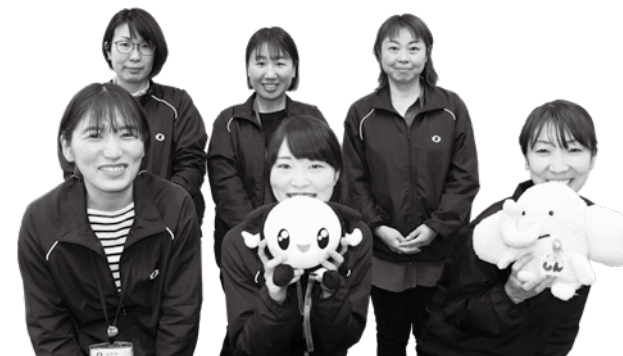
出産・子育て応援事業 1,813万3千円 新規

妊娠中から出産・子育て期までを安心して過ごせるように「伴走型相談支援」(※)を行います。併せて、経済的支援として、出産・子育て世帯に10万円(妊娠時に5万円、出産時に子ども1人あたり5万円)を給付します。

(※) 伴走型相談支援とは、妊産婦の方が抱えるさまざまな不安を解消するため、市の保健師など(おたけ版ネウボラの相談員)が、妊娠届け時の「親子(母子)健康手帳交付時の面接」と、産後の「こんにちは赤ちゃん訪問」など、妊娠から子育てまで一貫して家庭に寄り添うものです。

担当者に聞く 教えてカトウさん

保健医療課 保健師 加藤 由季(写真右)



私たちが相談を受けます。

『出産・子育て応援事業』は、妊娠時、出産時にそれぞれ5万円が給付される制度です。受給には条件があり、妊娠届け出と妊娠7～8カ月時、出産後4カ月健診までに相談員との面談が必要になります。原則、母親との面談が必須です。ネウボラは、フィンランド語で、「アドバイスの場」という意味があります。いつでも相談に乗ってくれる人がいる、見守ってくれる人がいるという安心。この制度が子育てに寄り添う機会づくりになればと思っています。

子育て世代に手厚く 新年度予算はこちらでチェック!



財政担当トリオ

予算書を販売しています (消費税込み1,000円)

予算書(A4版362ページ)は、企画財政課、各支所で販売しています。(当初予算の概要は無料で配布しています)

市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)、市のホームページでも閲覧できます。

問い合わせ
企画財政課 ☎59-2121



当初予算はこちらからも検索できます。